

合併から一年

清水が吸収されたことを実感

静岡合併から一年経ちました。清水では、公民館を拠点とする団体の活動や、行政に関わる地域の経済、市職員の仕事など、さまざまな場面で大きな変化が起ころはじめています。四月四日に放送されたSBSテレビの討論番組「トークバトル合併の主役は誰？新市・静岡の行方を問う」に磯谷千代美が出演しました。番組での小嶋市長や合併を推進した人たちの発言から、合併前と合併後の違いが浮き彫りになりました。合併から一年経った、現在の問題点を、番組の感想と合わせて整理してみました。

市民の知らない所で決まるすり合わせ

すり合わせは行政の内部で検討され、市民は決まってから市広報やマスコミで知るだけです。すり合わせの結果は市民生活に直接関わるものだから、市民抜きで進めたのはおかしいと思います。合併協議の時に繰り返しされた「説明責任」はどこに消えてしまったのでしょうか。

清水らしさが失われてしまう

「市民サービスは高い方に、負担は低い方に合わせる」と説明されてきました。今は、それはあくまで「原則」となり、「原則以外」もたくさん出ているわけですね。

金額で合わせられる「負担」はどちらが高いか低いか明確です。しかし、「市民サービスが高い」という時、どちらが「高い」と言い切れないものが出てきます。

まちは、自然や歴史や様々な要因があって、今の姿が形成されています。市民サービスや制度も、必ずしもどちらが遅れているとか、進んでいるとも言えない、そのまちに合ったものもあります。

清水と静岡は、まちなり立ちから違っています。

清水では、連合自治会単位でのまちづくりが行われてきました。各地区に、まちづくり推進委員会があり、自治会や地区社協などが、ボランティアで様々な活動を行っています。地区が



吸収合併だと感じる

一方、資源ゴミである、びん缶の回収は一市二制度のままです。収集はどちらも業者委託ですが、清水は二十年以上前から自治会で分別しています。

静岡は分別も業者に委託しています。その経費は年間六千万円になります。

新市は「資源循環型のまちづくり」を目指しています。だから、リサイクルや環境への意識を高めるためにも、時間をかけてでも、住民参加の清水方式を広げるべきです。その方が、経費も安くてすみます。

番組のなかで小嶋市長に、このことを問いかけたのですが、「しきたりの違い」「負担の公平性」と、まともな答が帰ってきませんでした。

住民自治を広げていく方向が、時代の流れだと思えます。

違うと言えば、職員の気質について、小椋義明静大教授がこんなことを言いました。「清水の職員は法被を着てまつりの輪に飛び込んでいくが、静岡の職員は机に座ってお金を渡すだけ」「静岡に合わせるのではなく、清水の気質を持ち、住民と一緒になつて二一ズを掴むようにしてほしい」その通りだと思えます。

清水の経済に大きな影響

市町村合併で一番大きく変化することは、地域の経済に関することだと思えます。

一般的に、小さいまちには小さな会社があり、大きなまちには大きな会社があり、コストなども違います。小さなまちで行政に関わる仕事をしていた会社は、合併すると、大きなまちの会社に勝てません。仕事が取れなくなってしまうのです。

いくつもの会社が倒産してしまい、地域経済が疲弊してしまふと心配してきましたが、その通りになりはじめています。今

すり合わせでおかしいと思うのは、清水の市民から不満が出ることはすぐ実行しても、静岡の市民から不満が出ることは、なかなか実行しないことです。だから「吸収合併」と感じるのです。

もつとも、国民健康保険に関しては、十六年度より清水方式に合わせました。「市民サービスは高い方に、負担は低い方に合わせる」という原則は吹き飛ばされ、静岡の、特に低所得の人にとつて負担が、二〜三倍になります。納付通知書が届く頃には、もつと不満の声が高まるでしょう。



清水では市民が分別も行う

まで清水市から発注を受けてきた会社が悲鳴を上げています。

行政からの仕事という建設土木が頭に浮かびますが、印刷物や文房具、備品の納品などもあります。合併後は「仕事が減った」「赤字覚悟で取った」などという話を聞きます。合併通信には、「この一年、行政からの仕事は何も無かった」というフアックスも届いています。

「合併通信は、市長に意見を言えるかもしれないが、行政から仕事を受注していると、ならまされたくないから、何も言えない」と話してくれた経営者もいました。

市民の立場からすれば、行政の支払いが税金からですから、安い方が良いに決まっています。

しかし、地元の会社に仕事が行かないことは、清水の地域経済の地盤沈下となり、活性化やまちづくりへの影響が出てきます。

合併問題で各地から講演に呼ばれますが、商工会など経済団体での講演では、大きなまちに吸収されることのデメリットを伝えていきます。